

「府立高校の在り方ビジョン」(仮称) 中間案(素案)の概要

■第1部 府立高校を取り巻く現状と課題

1 社会の急激な変化

人口減少、グローバル化、超スマート社会の到来、ICT利活用の急速な浸透 等

2 公立中学校卒業生数の減少

公立中3生数の一層の減少、府立高校の小規模化、私立高校の集積(全国2位) 等

3 公立中学校卒業生の進路状況の変化

府内私立高校や通信制高校進学者の増、府立高校の定員未充足の拡大 等

4 生徒の多様化

定時制・通信制課程の役割の変化、特別な支援を要する生徒の増 等

5 設置学科の状況

普通科・普通科系専門学科に在籍する生徒の割合の高さ、全国トップの大学等進学率、
職業学科における地域産業の担い手育成 等

6 地域創生における高校の役割

地域への愛着の醸成、地域を支える人材育成への期待 等



■第2部 令和時代に対応した京都府の高校教育の在り方

I 基本的な考え方

府立高校生は、在籍校への満足度が非常に高く、自身の希望進路に応じた学習指導と多様な教育活動がバランス良く充実し、豊かな人間関係づくりを求めていることを踏まえ、現在の「府立高校の良さ」を基本としつつ、さらに各校の『魅力』を高める取組を推進する。

- 時代の変化を踏まえた学習内容や学習方法の充実を図る
- 府立高校の強み(地域との結びつき、スケールメリット)を活かした魅力化を図る
- 豊かな学びに応えられる教員の資質向上や施設設備等の教育環境の充実を図る
- 学科の在り方など各高校の特色をわかりやすく見えるようにする
- 生徒の多様なニーズに対応した学びの環境を保障する
- 魅力ある府立高校づくりのために必要となる教育制度等の改革に向けて検討する

「基本的な考え方」のもと、魅力ある府立高校づくりと、それに向けた教育制度等の改革について、各観点別に【目指す方向性】を設定

「府立高校の在り方ビジョン」(仮称) 中間案(素案)の概要

Ⅱ 魅力ある府立高校づくり

1 府立高校における魅力的な学びの充実

(1) 授業内容や学習スタイルの転換

| | |
|---|--|
| ○探究的な学びや教科等横断的な学びの充実 ○ハイブリッド型の新たな学習スタイルの構築 等 | STEAM教育の推進、オンラインと対面を組み合わせた新たな学習スタイルの構築 等 |
|---|--|

(2) 地域や企業、高等教育機関・研究機関等との連携強化

| | |
|---|---------------------------------------|
| ○高等教育機関等との連携・接続の強化 ○地域とのつながりを活かした教育活動の推進 等 | 大学教育の先取り履修や卒業後の接続、地域との結びつきを強める取組の推進 等 |
|---|---------------------------------------|

(3) スケールメリットを活かした学習環境の向上

| | |
|--|----------------------------------|
| ○ICTの活用等による学校間連携の強化 ○課程間の連携による単位履修制度の構築 等 | 学校間での遠隔授業の実施、異なる課程間での単位履修制度の検討 等 |
|--|----------------------------------|

(4) グローバル人材の育成

| | |
|--|--|
| ○世界とつながる多様な留学機会の充実 ○高度な国際的視野やコミュニケーション能力の育成 等 | バーチャルとリアルを組み合わせたハイブリッド留学の実施、国際バカロレアの導入検討 等 |
|--|--|

(5) 教員の資質能力の向上と学校体制・指導体制の充実

| | |
|--|---|
| ○教員研修の質の向上 ○専門的スタッフの配置や外部人材の活用の推進 等 | ICTを活用した授業実践研修講座の実施、スクールカウンセラーやICT教育支援員等の配置 等 |
|--|---|

(6) 学びを支える教育環境の充実

| | |
|--|---|
| ○新たな学びを支えるICT教育環境の充実 ○地域産業を支える職業学科の教育環境の充実 ○生徒の多様な学習ニーズに対応できる教育環境の充実 | ICT教育環境の充実、産業教育設備の整備・更新や寮の再整備、特別な支援を要する生徒の学習ニーズに対応した教育環境の充実 等 |
|--|---|

(7) 魅力発信力の強化

| | |
|---|-------------------------------|
| ○中学校等との相互交流、連携の強化 ○府立高校の情報や魅力の効果的な発信 | 小・中学校教員と高校教員の相互交流、学校紹介動画の活用 等 |
|---|-------------------------------|

(8) スクール・ミッションの再定義

| | |
|--------------------------|--------------------------|
| ○府立高校ならではのスクール・ミッションの再定義 | 令和4年度中を目途にスクール・ミッションを再定義 |
|--------------------------|--------------------------|

「府立高校の在り方ビジョン」(仮称) 中間案(素案)の概要

2 学科の特色化・魅力化の推進

(1) 魅力ある普通教育の推進

| | |
|--|-------------------------------|
| ○普通教育における魅力の向上 ○普通科、普通科系専門学科の在り方の検討 等 | 学科やコースの名称の整理、新たな学科への再編などの検討 等 |
|--|-------------------------------|

(2) 質の高い職業教育・総合学科における学びの推進

| | |
|---|--|
| ○高等教育機関等との高度な連携の推進 ○社会で求められる資質能力に対応した職業教育の充実 等 | 高等教育機関等と連携した高度な学びへの深化、新たな学科への再編などの検討 等 |
|---|--|

3 多様なニーズに対応した柔軟な教育システムの充実

(1) 定時制・通信制教育の充実

| | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ○個別最適な学びの充実 ○新しい学習スタイルの通信制課程の設置 等 | 個別最適な学びの機会の保障、ハイブリッド型の新しい通信制課程の検討 等 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|

(2) 全日制課程における柔軟な教育システムの構築

| | |
|---|---|
| ○基礎的・基本的な学力の確実な定着に向けた柔軟な教育システムの構築 ○個性や才能を伸ばす柔軟な学習スタイルの構築 等 | 学び直しの機会等の保障、個性や才能を伸ばしながら高校生活を送ることができる柔軟な学習スタイルの検討 等 |
|---|---|

(3) 特別支援教育の充実

| | |
|--|---|
| ○特別支援学校高等部と連携したインクルーシブ教育の環境の整備 ○高校における特別支援教育の推進 等 | 特別支援学校高等部の府立高校への併設など共同学習等ができる環境整備、特別支援学校と連携した教育システム等の検討 等 |
|--|---|

Ⅲ 魅力ある府立高校づくりに向けた教育制度等の改革

1 地域の実情等を踏まえた府立高校の在り方の検討

| | |
|--|--|
| ○魅力ある府立高校づくりに向けた再編整備の検討 ○魅力ある高校づくりに資する学科再編の検討 等 | 一定規模の教育環境の確保や学科等のバランスの良い配置等の視点から、学校・学科の再編を検討 等 |
|--|--|

2 社会情勢等の変化に対応した入学者選抜の在り方の検討

| | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| ○入学者選抜制度の検証、見直しに向けた検討 | 関係機関と連携しつつ、現行制度を検証し、よりよい制度となるよう検討 |
|-----------------------|-----------------------------------|

魅力の向上

教育制度等の改革